

《 第 168 回 エフエムぬまづ番組審議会 議事録 》

1 開催年月日 2026 年 7 月 10 日(金)17:30 より

2 開催場所 沼津市寿町 8-28 メディアプラザ 1F 会議室

3 委員出席                      委員総数                      6 名

出席委員数 4 名

出席委員氏名 井上 純代

杉本 万千

林 伸晃

高木 隆太

欠席委員氏名 大川 皓平

保坂 典子

放送事業者側出席者名 田中 誠

植田 航平

浅田 智子

#### 4 議題 「ぱれっとタウン」内包コーナー

毎週木曜日 13 時 07 分頃～「スポらじ+」

2026 年 6 月 18 日放送分

#### 5 審議内容

(事業者側:植田) 定刻になりましたので第 168 回番組審議会を開催いたします。

本日、ご審議いただく番組は、今年度より開始した新コーナー「スポらじ+」より、6 月 18 日放送回です。

2024 年から開始した「スポらじ」は、部活動の地域移行に向けた沼津市内の動きや、地元のスポーツに関する情報を、沼津市スポーツ協会の高嶋会長を中心にご紹介していただけてきました。こちらの審議会でも、以前ご審議いただいたこともあり、当時の審議会での「より深い話も欲しい」といったご意見を踏まえ、本放送翌週にスピノフ版として枠を設け、新たに誕生したコーナーです。実際にスポーツの第一線で活躍する選手の皆さんや部活動の地域移行に関連して、指導者の皆さんなどの声も放送に寄せ、リアルなスポーツの現場をご紹介します、スポーツを身近に感じてもらう目的のもとお届けしています。今回の放送音源は、フェンシング女子サーブル日本代表の脇田樹魅選手をゲストにお迎えした放送回になります。それでは、よろしくお願いいたします。

(番組聴取)

(事業者側:植田) 本日は大川委員長がご欠席のため、私が審議の進行をしてみたいです。それではまず、杉本委員からご意見をお願いします。

(杉本委員) 楽しいコーナーだと思いました。実際にスポーツをされている選手から話を聞けて良かったです。パーソナリティさんの笑い声が少し気になりました。

(井上委員) 面白いコーナーだと思いました。15～20分で、フェンシングに関する様々な情報を聞けましたし、フェンシングについてはあまりなじみのない情報なのでなおさら聞けて良かったです。今回のゲストである脇田選手は声が聞きやすく、はっきりお話してくれました。パーソナリティさんが上手にお話を回してくれていると思いますが、数か所、笑い声が耳にカンカンとくるころがありました。笑い声の音量は、機械の調整でなんとかなる問題なのか、それともその人の声質や癖だからしょうがないことなのかどちらか分かりませんが気になりました。でもお話は上手だし聞きやすい声でした。リズム質問も楽しく聴けました。脇田選手の答え方が上手なのか、リズムにのって、質問と答えが繰り返されるのが良いですね。

(高木委員) リズムにのせた一問一答が面白かったです。選手の、リズムにのらなきゃ・言わなきゃ、から本音が聞きだせるなと思いました。脇田選手は一度、スマートフェンシングの授業で呼び出したことがあり、活躍されていることを存じていたので、このようにコーナーで取り上げ、選手のことを深掘りできて良かったです。多少聞き取りづらい部分もありましたが、良いコーナーだと思います。

(林委員) 脇田選手の声が聞き取りやすかったですね。沼津信用金庫所属でサーブ  
ルの脇田選手がいるということは存じていたので、ステレオタイプの話で  
はなく、より選手自身のことを掘り下げた話が聞けて楽しかったです。その  
反面、脇田選手をあまり知らないリスナー向けには、もう少しフェンシング  
競技の話があれば良かったのかなとも思います。一人のアスリートをコー  
ナー枠で取り上げるのは面白いので、今後もぜひ続けてほしいです。

(井上委員) これまではどのような方がご出演されましたか。

(事業者側:植田) 4 月は沼津テニス協会理事長、5 月は沼津市武術太極拳連盟の方で、ス  
ポーツの第一線で活躍されている方にご出演いただいています。今回のご  
出演は、この番組に提供いただいているのが沼津信用金庫様であり、もと  
もとスポーツ協会の高嶋さんが沼津信用金庫の理事でいらっしゃったとい  
うことから、そのつながりで脇田選手のご出演が叶いました。  
皆様からのご意見を頂戴し、私も感じる部分としましては、フェンシングとは  
そもそもどういう競技で、沼津ならこういったところでプレイできるのか、ど  
こで体験できるのかなど、フェンシングのまち沼津らしさを出せるようなトー  
クができればもっと良かったのかなと思いました。そのうえで、脇田選手の  
お話をうかがうという構成にすれば、フェンシングについての理解について  
も深まり、より良い内容になったのではないかと思います。そのあたりの工夫も  
今後必要になってくるかと思います。  
リズムにのせた一問一答についてもご評価いただきありがとうございます。  
ラジオは音声メディアですので、だらだらと 15 分～20 分しゃべり続けるの

はあまり好ましくないというなかで、キャッチで特徴的であったり、リスナーが聞き飽きないような工夫をということで、番組内で取り入れています。ゲストの皆さんがリズムにうまく乗れるときもあれば、意外とリズムに乗れないということもあり、選手の意外な一面も引き出せるのではないかと思います。

マイクのりについてのご意見ですが、こちらも確かに、実際の現場をみていないので分かりかねますが、マイクの位置など改善できる場所があれば改善したいと思います。笑い方に関してもそうですね。

（井上委員）      ゲストの方と一緒に笑うのは、楽しい雰囲気が伝わるから良いですよ。

（事業者側：植田） ゲストを迎えた際は、相手が気持ち良く話をしてもらえるように、話を引き出し、楽しかったと帰ってもらうためにも、笑わせなきゃ・笑わなきゃという気持ちになります。気持ちが高ぶって笑い声が出たときに、その笑い方や癖、トーンというのは自分では意外と分からないものなので、難しいところではありますが、現場へフィードバックし改善できればと思います。

（井上委員）      こちらのコーナーは、例えば高校生など全国で活躍されている方も対象になりますか。

（事業者側：植田） そうですね。高校生でスポーツをされて快挙を成し遂げた方であったり、年齢関係なく幅広い視点で、スポーツ協会様のほうで選んでくださると思います。高校生などは平日の昼間の出演だと難しいかと思いますが、都合がつけば、出演できることを期待したいですね。

(林委員) 番組表をみると、ケーブルテレビでも放送されていますよね。

(事業者側:植田) はい。平日 13 時台の 20 分頃までは、テレビでも放送されています。本来ですと、20 分～30 分トークが続く際は間に曲を挟んだほうが好ましいのですが、テレビと連携しているコーナーですので、この時間はトーク重視で放送しています。

(杉本委員) 高嶋会長は毎回ご出演されていますか。声が小さかったのも、次回以降はもう少し声が大きく聞こえたらいいなと思います。

(事業者側:植田) 毎回ご出演いただいています。確かに、ボリュームが小さかったかとは思いますが、こちらのミキサーやディレクションのなかでもう少しフォローできるころはあるかと思っています。

(杉本委員) 席の配置はどんな感じですか。向かい合ってお話をされていますか。

(事業者側:植田) そうです。この会議室の机二つ分の距離で、パーソナリティの向かいにゲストがいるという配置です。スタジオが狭いため、マイク同士で音を拾ってしまうというのもあり、難しいところもあります。

(井上委員) 沼津はフェンシングのまちということもあり、沼津西高校と沼津東高校にフェンシング部があるので、第一線で活躍しているスポーツ選手ではなくとも、フェンシングのまちを売り出すためにも、フェンシング部を取り上げてい

ただけると嬉しいです。

（事業者側：植田）そうですね。中学生・高校生という若い人が活躍しているというのも取り上げられたらいいのかなとも思います。それから、スタジオゲストにフェンシングのプロフェッショナルが来てくれるのであれば、実際に競技で使っているものも持ってきてもらえば良かったとも思います。音声メディアであるラジオだからこそ、実際に使っている剣がどのくらいの長さなのか、どんな見た目をしているのか、パーソナリティが描写したり、実際の防具を持たせてもらったりなど、リスナーのイメージも掻き立てられるような話の展開になりますし、さらにテレビの放送もあるので、内容もより良くなったかと思います。私はテレビの中継で実際に着せてもらったことがあります、本当に重たくて、着た後に動くのも大変でした。よりフェンシングが身近に感じられるように、こういう風に準備・競技しているんだという話がもっと引き出せるような工夫を今後もしていけたらと思います。

（事業者側：田中）本日は様々なご意見をくださりありがとうございました。脇田選手がくるということもありパーソナリティのテンションが上がっていたのではないかなと思います。音量の問題など、気になったらすぐその場で調整し改善するなどしていければと思います。引き続きより良い番組を制作していきたいと思っています。